

《第80回》楠6町内子ども会（15）

「水遊び in 小栗郷親水プール」

育成会会長 石川裕美、庄島彩華

令和5年7月27日（木）に、山鹿にある小栗郷親水プールで水遊びを楽しみました。

夏休みも始まり、毎日暑い中、プールでみんなで楽しめたらいいなと思い、計画しました。

始まる前に6年生が代表して、プールでの注意事項を読み上げていざ！プールへ！！

「冷たくて気持ち～い」「楽しい！」「一緒に泳ごう！」など子ども達のキラキラした笑顔が見られました。監視員の方も居て安心出来るプールですが、親も近くで見守りながら過ごしました。

幼児や低学年の子達は浅めの場所で浮き輪で遊んだり、高学年は飛び込みOKなので何度も飛び込んだりしてスリルを味わっていました。

小さい子の面倒を見たり、一緒に泳いでくれたりする姿を見て、楠6町内の子ども達は仲良しだと改めて思いました。



思い思いに
楽しみました。





高学年の子はみんな大変優しいです。
いっしょに遊んでくれました。



「〇〇の海で泳いできました。」 と言いたいくらいでした。





お昼のお弁当は、みんなで食べるから
本当に美味しかったです！

夏休みの楽しい思い出の1つになりました。



みんなで 記念撮影 「ピース！」

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。今年は猛暑が続いており、子どもたちもプールで十分楽しんだようですね。きれいな冷たい水で遊べると共に、子どもたちが仲良くふれあえる素晴らしい企画でした。自分だけが楽しむのではなく、小さい子の面倒を見たり、一緒に泳いでくれたりと大変優しい子どもたちです。面倒見る子も見られる子も、それぞれが成長するふれ合いだと思います。異年齢集団の子ども会活動の良さが現れている例です。
- ② 始まる前に6年生が注意事項を読み上げるというように、子どもが前面に出て話す機会を作る配慮は大変素晴らしいです。子どもたちは、そのような経験を重ねて、リーダーとして成長していくのだと思います。